

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年9月期	19,500,000株	2018年9月期	19,500,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期	853,104株	2018年9月期	853,104株
③ 期中平均株式数	2019年9月期	18,646,896株	2018年9月期	18,950,286株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(表示方法の変更)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(有価証券関係)	11
(セグメント情報等)	12
(関連当事者情報)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度における我が国経済は、雇用情勢や所得環境の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦の深刻化、英国のEU離脱問題等により世界経済の景気動向は、先行き不透明な状況で推移しております。

この様な経営環境の下、当社は引続き、コト消費ECサイトの強化を進め、「machicon JAPAN」サイトのコンテンツ掲載数の増強を図って参りました。また、当社が提供するサービスを共通で利用できるリンクバルIDの会員数は9月末現在で、187万人を突破しました。2019年9月には、新サービス「人事トーク（学生採用支援サービス）」をリリースし、独身男女の出会いだけでなく、企業と学生の出会いを提供し、新たな市場への展開を図って参ります。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高は2,719,629千円（前期比1.8%減）となり、また、損益面では、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,693,572千円（前期比16.8%減）となった結果、営業利益は1,026,056千円（前期比39.5%増）、経常利益は1,028,964千円（前期比39.4%増）、当期純利益は632,586千円（前期比37.8%増）となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービスごとの取り組みは以下のとおりであります。

(イベントECサイト運営サービス)

当事業年度では、当社の運営する「machicon JAPAN」サイトへの訪問者数が堅調に増加し、年間参加者数が121万人を突破しました。友達作り、体験、社会人サークル等、共通の趣味をもつ参加者を対象としたコンテンツの掲載を引続き強化しました。また、従前より進めている他社イベントへの戦略的な移行についても引続き取り組んでまいりました。

これらの結果、当事業年度におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は2,482,817千円（前期比4.0%減）となりました。なお、売上高の主な内訳は、他社が主催する街コンイベントによる売上高が2,086,729千円（前期比24.9%増）、自社が主催する街コンイベントにおける売上高が366,942千円（前期比58.7%減）となりました。

(WEBサイト運営サービス)

「CoupLink」では、有料会員数が順調に推移し、売上高増加に寄与しております。

「KOIGAKU」サイトでは、著名ライターオリジナルコンテンツの制作・配信を強化しており、広告販売による売上獲得に寄与しました。

これらの結果、当事業年度におけるWEBサイト運営サービスの売上高は236,811千円（前期比29.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は2,690,925千円となり、前事業年度末に比べ616,305千円増加いたしました。これは主に、業績好調による現金及び預金の増加が619,375千円があったことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は628,122千円となり、前事業年度末に比べ16,281千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の増加が78,175千円あったものの、未払金の減少が61,792千円、未払費用の減少が13,573千円、買掛金の減少が12,954千円あったことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は2,062,802千円となり、前事業年度末に比べ632,586千円増加いたしました。これは、当期純利益の計上による利益剰余金の増加が632,586千円あったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末から619,375千円増加し、2,281,192千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、営業活動から得られた資金は669,611千円(前年同期は461,732千円の収入)となりました。これは主に、法人税等の支払額が313,881千円、未払金の減少が61,792千円あったものの、税引前当期純利益が1,015,235千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、投資活動により支出した資金は50,236千円(前年同期は9,774千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が26,909千円、子会社株式の取得による支出が9,671千円、関係会社への貸付けによる支出が7,500千円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、財務活動による資金の増減はありません。(前年同期は249,772千円の支出)

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
自己資本比率	70.3%	66.5%	68.9%	76.7%
時価ベースの自己資本比率	207.7%	336.7%	858.4%	377.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 該当する算出数値がない場合には「—」を記載しております。

(4) 今後の見通し

消費者のニーズは引き続き「モノ消費」から心の豊かさを求める「コト消費」への更なる移行が予想されております。当社はこのような環境下、独身向けイベントECサイトからスタートした「machicon JAPAN」において、既存の独身向けイベントについて、これまでにないカテゴリーのイベントを企画してまいります。さらに、ワンストップ型の「コト消費」の総合ECサイトとして、コト・カテゴリーの掲載拡大を推進して参ります。また、従来の広告宣伝活動に加え、認知広告をはじめとする将来の成長のための広告宣伝活動を行い潜在ユーザーの獲得を強化して参ります。恋活マッチングアプリ「CoupLink」においては、「machicon JAPAN」との相互送客を一層強化して参ります。国内でもオンライン・マッチング市場が急拡大する中、イベントECサイト「machicon JAPAN」を運営している当社だからこそできるリアルとオンライン双方から出会いを提供し、更なるユーザーニーズの取り込みを促進して参ります。加えて、従来「CoupLink」においては、その流入経路が「machicon JAPAN」メインでしたが、広告宣伝費を投下することで、新たな経路からのユーザー獲得強化を進めてまいります。WEBメディアにおきましては「KOIGAKU」のコンテンツ強化に注力し、コンテンツ配信数の増加やサイトデザインの改良を行い更なるユーザー数の拡大を目指して参ります。2019年9月からサービス開始した「人事トーク」については、これまで当社で提供していないサービスエリアである求人企業と就活生のマッチングを図って参ります。人事トークの学生ユーザーは、当社の他サービスの潜在的なユーザーでもあるため、将来的に当社のコト消費関連サービスへの相互送客を図って参ります。「Pairy」については、マッチング後のカップルに対して当社のコト消費関連サービスを積極的に提供して参ります。

上記以外の、コト消費領域拡大のための新規サービスについても新規事業企画室を中心として、当社の既存サービスとシナジーが認められるものについて積極的に展開して参ります。

これらの施策の実行により、2020年9月期の業績見通しにつきましては、売上高2,804,902千円、営業利益527,959千円、経常利益527,959千円、当期純利益327,334千円を見込んでおります。

上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当事業年度 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,661,816	2,281,192
売掛金	27,042	25,575
未収入金	140,579	129,926
前渡金	6,898	1,215
前払費用	22,574	13,817
関係会社短期貸付金	-	7,500
その他	4,813	1,222
流動資産合計	1,863,724	2,460,449
固定資産		
有形固定資産		
建物	87,781	76,984
減価償却累計額	△28,073	△34,002
建物(純額)	59,708	42,981
工具、器具及び備品	24,993	25,735
減価償却累計額	△13,786	△17,232
工具、器具及び備品(純額)	11,206	8,502
建設仮勘定	486	-
有形固定資産合計	71,401	51,483
無形固定資産		
商標権	371	270
ソフトウェア	6,579	27,852
無形固定資産合計	6,951	28,122
投資その他の資産		
関係会社株式	-	9,671
差入保証金	-	2,200
敷金	82,106	78,938
繰延税金資産	47,196	54,443
その他	3,240	5,616
投資その他の資産合計	132,543	150,869
固定資産合計	210,895	230,475
資産合計	2,074,619	2,690,925
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,902	6,947
未払金	232,890	171,098
未払費用	57,827	44,253
未払法人税等	186,742	264,918
未払消費税等	32,210	31,722
前受金	10,766	8,621
預り金	49,456	52,036
賞与引当金	23,246	19,182
流動負債合計	613,042	598,779
固定負債		
資産除去債務	31,361	29,342
固定負債合計	31,361	29,342
負債合計	644,404	628,122

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当事業年度 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,000	281,000
資本剰余金		
資本準備金	276,000	276,000
資本剰余金合計	276,000	276,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,266,976	1,899,562
利益剰余金合計	1,266,976	1,899,562
自己株式	△393,916	△393,916
株主資本合計	1,430,059	2,062,646
新株予約権	156	156
純資産合計	1,430,215	2,062,802
負債純資産合計	2,074,619	2,690,925

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,769,949	2,719,629
売上原価	479,799	268,730
売上総利益	2,290,150	2,450,898
販売費及び一般管理費	1,554,768	1,424,842
営業利益	735,381	1,026,056
営業外収益		
受取利息	76	95
債務勘定整理益	3,908	2,837
その他	70	51
営業外収益合計	4,056	2,985
営業外費用		
支払手数料	889	-
その他	174	77
営業外費用合計	1,064	77
経常利益	738,374	1,028,964
特別損失		
減損損失	2,500	10,010
資産除去債務履行差額	-	3,596
その他	-	121
特別損失合計	2,500	13,728
税引前当期純利益	735,874	1,015,235
法人税、住民税及び事業税	279,086	389,895
法人税等調整額	△2,193	△7,246
法人税等合計	276,892	382,648
当期純利益	458,981	632,586

【売上原価明細】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)		当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
イベント開催費用		425,154	88.6	213,383	79.4
WEBサイト運営サービス関連費用		54,645	11.4	55,346	20.6
合計		479,799	100.0	268,730	100.0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
当期首残高	281,000	276,000	276,000	807,994	807,994	△143,988	1,221,006	-	1,221,006
当期変動額									
当期純利益				458,981	458,981		458,981		458,981
自己株式の取得						△249,928	△249,928		△249,928
新株予約権の発行								156	156
当期変動額合計	-	-	-	458,981	458,981	△249,928	209,053	156	209,209
当期末残高	281,000	276,000	276,000	1,266,976	1,266,976	△393,916	1,430,059	156	1,430,215

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
当期首残高	281,000	276,000	276,000	1,266,976	1,266,976	△393,916	1,430,059	156	1,430,215
当期変動額									
当期純利益				632,586	632,586		632,586		632,586
当期変動額合計	-	-	-	632,586	632,586	-	632,586	-	632,586
当期末残高	281,000	276,000	276,000	1,899,562	1,899,562	△393,916	2,062,646	156	2,062,802

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	735,874	1,015,235
減価償却費	13,873	16,874
減損損失	2,500	10,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△591	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,504	△4,063
受取利息及び受取配当金	△76	△95
売上債権の増減額(△は増加)	△6,049	1,467
未収入金の増減額(△は増加)	△14,079	10,653
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,307	△12,954
未払金の増減額(△は減少)	30,407	△61,792
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,306	12
前受金の増減額(△は減少)	△1,664	△2,144
預り金の増減額(△は減少)	△8,169	2,579
その他	△34,131	7,615
小計	703,386	983,397
利息及び配当金の受取額	76	95
法人税等の支払額	△241,730	△313,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	461,732	669,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,856	△1,431
有形固定資産の売却による収入	-	80
無形固定資産の取得による支出	△3,442	△26,909
子会社株式の取得による支出	-	△9,671
敷金及び保証金の差入による支出	△3,559	△2,200
敷金及び保証金の回収による収入	2,083	2,905
関係会社貸付けによる支出	-	△7,500
資産除去債務の履行による支出	-	△5,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,774	△50,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△249,928	-
新株予約権の発行による収入	156	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,772	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	202,185	619,375
現金及び現金同等物の期首残高	1,459,631	1,661,816
現金及び現金同等物の期末残高	1,661,816	2,281,192

(5) 財務諸表に関する注記事項

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は固定資産の区分に表示変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において「流動資産」の繰延税金資産18,891千円は「投資その他の資産」の繰延税金資産47,196千円に含めて表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

前事業年度(2018年9月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(2019年9月30日)

利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性が乏しい非連結子会社のみであるため、記載しておりません。

(有価証券関係)

子会社株式

前事業年度(2018年9月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(2019年9月30日)

子会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額は9,671千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(米ドル)	事業の内容又は職種	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
子会社	LINKBAL VIETNAM CO., LTD.	ベトナム 社会主義 共和国	88,117	システム 開発	所有 直接 100%	システム 開発 受託	資金の 貸付 (注1)	7,500	関係会社 短期 貸付金	7,500

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 貸付金の適用金利は、市場金利を勘案し決定することにしております。

2. 上記の取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	76.70円	110.62円
1株当たり当期純利益金額	24.22円	33.92円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在しておりますが、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益(千円)	458,981	632,586
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	458,981	632,586
普通株式の期中平均株式数(株)	18,950,286	18,646,896
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年2月13日開催の取締役 会決議による新株予約権 新株予約権の発行 ①第1回 新株予約権 新株予約権の数 260個 ②第2回 新株予約権 新株予約権の数 45個 ③第3回 新株予約権 新株予約権の数 30個 ④第4回 新株予約権 新株予約権の数 690個 ⑤第5回 新株予約権 新株予約権の数 355個 ⑥第6回 新株予約権 新株予約権の数 180個	2018年2月13日開催の取締役 会決議による新株予約権 新株予約権の発行 ①第1回 新株予約権 新株予約権の数 260個 ②第2回 新株予約権 新株予約権の数 45個 ③第3回 新株予約権 新株予約権の数 30個 ④第4回 新株予約権 新株予約権の数 690個 ⑤第5回 新株予約権 新株予約権の数 355個 ⑥第6回 新株予約権 新株予約権の数 180個

(重要な後発事象)

該当事項はありません。